

中川正春の 永田町かわら版232号 2005/4/8

民主党三重県第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

ホームページ <http://www.masaharu.gr.jp>

e-mail g03063@shugiin.go.jp

<三重> 〒513-0013 鈴鹿市国分町453-7

電話:0593-73-3933/FAX:0593-74-3088

<東京> 〒100-8981千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館428号室

電話:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

○福岡と宮城の補欠選挙、頑張る

今月24日に行われる福岡の補欠選挙の応援に行ってきました。民主党の予定候補者は「平田まさのり」37歳。高校の時、交通事故で車椅子の生活になりましたが、その後一念発起。アメリカの大学に入って弁護士資格をとって帰ってきた努力のひとです。

自民党は山崎拓さん。前回の選挙では、女性スキャンダルから落選。その時当選した民主党の古賀議員がアメリカの大学の学歴詐称で議員辞職した事から、ふたたび補欠選挙となったわけです。

少し風はありましたが、気持ちのいい早春の晴れ渡った空の下で、街頭演説に参加。諸団体を回ったり、市民の意見にもふれたりしました。感想は、ちょっと苦しいなという感じです。福岡市民にしてみれば、女性スキャンダルに学歴詐称が重なって、政治家に対する失望感があります。どうにもやるせない。選挙を通じてもう一度政治に興味を持って振り返って欲しいとお願いしました。山崎拓さんは、徹底した業界団体の締め付け選挙をやっていきます。平田さん本人が、すさまじい努力をしているだけに、ぜひ勝たせたいと思う。しかし、投票率が上がらなければ、平田候補への支持が来ないとすれば、もう一発の起爆剤が必要だと、つくづく思いました。

帰りにかけ込んだ博多ラーメンが腹にしみわたりました。

○納得に工夫のいる環境税

環境税の問題でパネラーとして民主党の政策を紹介する機会がありました。JACSESという環境NGOがパネルディスカッションを主催しました。自民党や公明党と並んだ中では、二酸化炭素の排出削減に環境税を導入すべきだとはっきり主張しているのは民主党だけです。

だから、こうした会では多少は大きな顔をしながら話が出来ました。

しかし、もう一方で産業界を中心に、税の導入には強い反対の声があります。5日には民主党の次の内閣役員と経団連との政策協議があり、私が矢面に立たされました。「増税ではなく、エネルギー使用の構造を変えたのだ。他の分野の減税と差し引きして税収中立になる。」と、説明しても納得がいかず、景気に悪く、企業の海外との競争力をそぐものだと、強い反対意見が述べられました。特にこれが、地元の鈴鹿にサランラップ工場のある旭化成の社長さんからでたものですから、ちょっとこたえました。

しかし、小泉さんの郵政民営化がいつの間にか手段から目的に化けてしまったように、民主党の環境税が目的化してかたくなな議論になってしまっはいけないと思っています。経済活動と環境を調和させて私達の生活が未来永劫持続をしていくために、柔軟な議論を続けます。

○ガンバレ市役所

電話やメールで地元の皆さんを中心にいくつもの相談事がきます。その中で、市政にからんで二つほど気になることがあります。

一つは、都市計画の土地利用で、開発の規制をかける場合などに、議会で条例化などをして民主的なルールに基づく手続を経ずに、関係の役所の担当者だけで勝手に基準を作ってしまうて運用している例がありました。これは、都市計画分野だけでなく、環境、教育など広い分野で「指導指針」などという名で、横行しています。思い出して見ると県も例外ではなかったように思います。地方議会で条例化によって具体的な基準を議論をすれば、市民も参加してその周知徹底も図れます。民主主義とルール行政の原点に戻るべきだと言っています。

二番目は、地元業者への工事発注です。民間資本で学校など公共施設を建設して市が賃借し、その維持運営も民間に委託する手法が出てきました。PFIです。現状ではこのような新しい手法は、東京から来た大手ゼネコンの独壇場です。これを嘆いてはだめです。地元業者と地方銀行が事業の受け手として特別目的会社を組めるようにするための条件を整えるべきです。これも市や県の担当者に督促しています。

これから地元に戻ります。東京にまけない満開の桜をこの週末は楽しみに。仕事も東京に負けるなとハッパをかけます。